

安定的な良質乳出荷の取組

石狩ピュアミルク運動を通じた乳質改善

活動年次：令和3～4年

石狩農業改良普及センター広域（畜産）

1 課題設定の背景 *****

対象：改善志向農家（千歳1戸、恵庭1戸、北広島1戸、江別市1戸）

現状

- 新規乳房炎の発症
- 自分でできる対策は尽くしている

課題解決に向けて

- 実効性のある乳房炎対策の実施
- 管内優良事例の活用

目標

- 乳房炎罹患頭数の減少
- バルク乳体細胞数の減少(旬検査)

2 活動の経過 *****

◆石狩ピュアミルク運動の対象農場に対し、プロジェクトチームによる技術提案を行った（下表参照）。

提案内容	個体別原因菌の特定	ラクトコグダー、搾乳立会による手技の確認	トライスキャンによる搾乳機器性能の確認	群分けによる搾乳順番の励行	牛床の消毒	清拭用タオルの変更	清拭用タオルの除菌
A農場	○			○	○	○	○
B農場	○	○				○	○
C農場	○	○			○	○	○
D農場	○	○			○	○	○

- ◆B、C農場はR3年から支援を継続し、A、D農場はR4年度新規に取り組んだ。
- ◆個体の特定や搾乳手順の見直し、搾乳衛生について全戸で実践された。
- ◆伝染性乳房炎対策として、罹患牛を分け、それらは最後に搾乳した（A農場）
- ◆D農場では牛体を清潔に保つ取組が実践された。



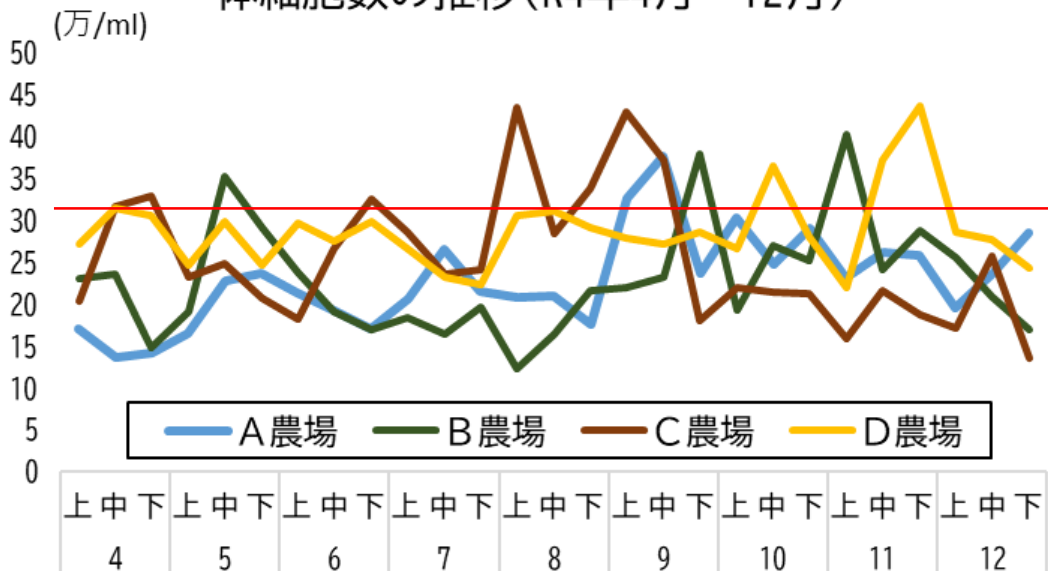
◆搾乳手順を見直し、衛生的な搾乳が実践された（D農場）。



◆牛床に敷料を多く投入し、牛体がきれいに保たれるようになった（D農場）。

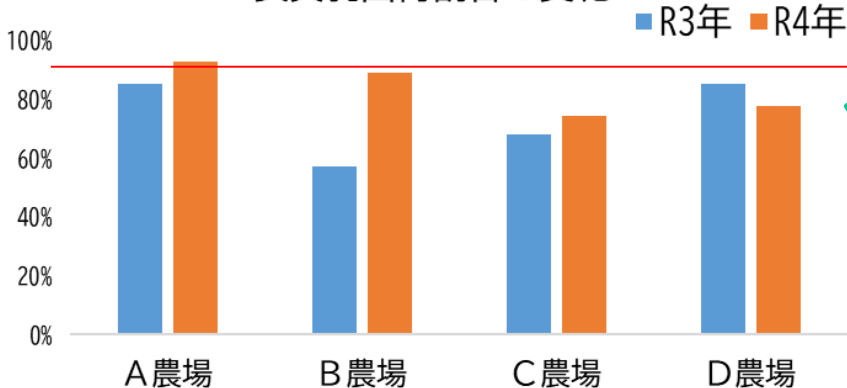
3 活動の成果 *****

体細胞数の推移(R4年4月～12月)



- ★衛生的搾乳の励行により体細胞数の対象農家の平均は25万だった。
- ★暑熱ストレスがかかる時期に悪化する傾向が見られた。
- ★伝染性乳房炎の罹患頭数割合は47%→53%と変化が見られなかった。
→原因解明及び罹患頭数の減少への支援が必要（A農場）。
- ★B農場からは「関係機関の協力により改善の兆しがみえた」との声が聞かれた。

良質乳出荷割合の変化



- ★良質乳出荷割合は4戸平均で83%とR3年(74%)と比較し改善がみられた。
- ★目標(90%以上)は1戸が達成した。

※良質乳 = バルク乳体細胞数30万以下

4 今後の活動 *****

- ◆石狩ピュアミルク運動を通じた乳質改善の取組を継続する。
- ◆講習会等を通じ、改善事例を元に活動のPRし、横展開を図る。
- ◆一般課題としては終了し、要請対応とする。